

第一回就職レポート (外資系投資銀行)

6/22/2012
Yuri Imamura

1、投資銀行のビジネスについて

私は今年の4月から外資系投資銀行に勤務しています。投資銀行は、法人（アセットマネジメント・証券会社・保険・銀行などの機関投資家、メーカーや商社などの事業会社、独法 etc.）のお客様を対象とした財務アドバイスや、資産運用のお手伝いとして、以下に挙げるような業務を行っています。

- M&A、事業再編、IPO（新規上場）
- 金融商品（株や債券等）の売買の取り次ぎ
- 株や社債の発行、引き受けで資金調達をサポート
- 個人へ販売を行う金融機関へのホールセール
- お客様の海外との取引のサポート

世界各国にある拠点の、グローバルなネットワークを活かしながら、ビジネスを展開しています。

2、新入社員研修

入社して最初の1ヶ月間が新人研修期間でした。研修の主な内容は以下の通りです。

- 日本における、またグローバルから見た、当社ビジネスについての講義
- グループ内各部門のマネジャーによる講義
- ビジネスマナー講座
- 海外とのコミュニケーション・スキル講座
- 個人およびグループによるプレゼンテーション
- 同期社員からのフィードバック
- コンプライアンス、情報管理についての講義
- 東京証券取引所・日本銀行 訪問
- 会計、財務の講義

これら研修は、大半が講義形式でしたが、多くの講義が英語で行われました。また、ゼミでもお馴染みの、正規分布や分散など統計学の知識が役立つ講義もありました。

グループワークでは中々意見がまとまらず、研修後や休

日も集まって話し合いを重ね体力的にもチャレンジの多い日々が続きました。研修内容も難解なものが多く、自分はこの業界で本当にやっていけるのか？と思悩むこともありましたが、しかし一つ一つ着実にハードルを乗り越え、知識が定着するにつれて徐々に自信を養うことができました。

また、研修を通じて多くの人々と出会い、様々なことを考えさせられたことで、自分の新たな一面が見えてきました。自分の将来やキャリアについても考えるきっかけになりました。学生気分から抜け出し、社会と向き合うことができたと思います。1ヶ月という短期間でしたが、得たものは非常に多く筆舌に尽くしがたいです。

3、業務内容

外資系投資銀行は部門別採用のため、採用時点で配属される部署は決まっていました。配属先のチームは4月末に正式に決定し、5月からオフィスに入りOJTを受けながら勤務をしています。日系企業と比べるとかなり早くからOJTが始まっていると思います。

- 4月 新入社員研修
- 5月 OJT
- 6月 業務の幅をさらに広げる
- 7月 Mid-term interview (直属のマネジャーと目標の達成度や評価について話し合い)

私はお客様の証券口座にかかわる業務を管理しているチームで働いています。早いうちからお客様である信託銀行の口座を任せられており、日々新しい仕事を学んでいます。

やりがいに感じることは主に二つあります。一つ目は、外部のお客様とやり取りすることが非常に多いチームだということ。問い合わせ内容も多岐に渡っており、日々の

お客様とのコミュニケーションから新たに学ぶことがとても多いです。証券口座は全ての取引の基礎となる重要なものなので、一つ一つのやり取りを慎重に行なう必要があり、緊張感のある毎日です。二つ目は、社内の様々な部署と連絡を取り合うチームだということ。営業担当や取引決済担当、コンプライアンス担当、テクノロジー担当とは常に連絡を取り合っています。重要な連絡も非常に多いので、ミスや情報の取りこぼしをしないよう、少しでもおかしいと思ったら先輩に確認を取るよう心がけています。

4、就職をした感想

部署の新卒が今年は私一人のため、最初はとても不安でしたが、上司や先輩社員がとても優しく、毎日楽しく働いています。また他のチームの社員であっても、私の間違いやミスは教えてくれるので、日々学ぶことが多く、成長していると強く実感しています。本当にこの会社に就職することができて良かったと思います。

投資銀行で働き始めて、初めて発見したこともあります。1つ目は、1つの金融取引であっても、社内では本当にたくさんの部署と人が関わっているということです。それぞれ専門分野のプロフェッショナルばかりで、私も早く一人前の働きができるようになりたいと日々刺激を受けています。

2つ目は、金融商品は、実は全ての業界・企業と密接にかかわりがあるということです。「株」や「投資」というと単にお金儲けのイメージを持つ方もいらっしゃるかも知れませんが、決してそんなことはありません。金融機関だけでなく、様々な企業、政府機関、自治体の皆様が、投資銀行を通して必要な財務活動を行い、日本経済に貢献しています。その中で働いていると思うと非常にやりがいを感じるとともに、大きな責任を感じます。

5、ゼミ生へ向けて

どの道へ進むにしろ、英語は学生のうちから学習したほうがいいです。私も社会人になってから休日に英会話スクールに通っていますが、学生のうちにもっと出来る事があったと感じています。3階のスピーキングセッションでは

無料で英会話レッスンができる等、外大は英語を学ぶ環境が整っていますので、ぜひ積極的に利用してください。

また、特に4年生は卒業論文の執筆を頑張ってもらいたいと思います。このゼミの論文は大変だと思いますが、大きなことをやり遂げると自信がつかます。卒業してからも苦しいときの励みになります（経験談）！

あとは体力づくり。私も時間がある時はジョギングなどして体力づくりをしています。また社会人になってから、学生の時より「運動は何しているの？」と聞かれる機会が多いと感じるので、話題づくりにもなるのではないのでしょうか。運動でなくても、人に語れるような趣味を探すのもいいかも知れませんね。

以上、簡単に私の就職先についてレポートいたしました。私も新しい環境で努力していますので、皆さんも精一杯頑張ってください。

今村 百合